

平成28年1月15日

## 第7回 人と野生動植物の共生を考えるつどいの開催について

現在の登米市の自然環境は、経済性や効率性を優先した近代化や開発により、生息してきた多くの生き物の生育環境の劣化や生態系の変化が見られます。例えば、以前は田んぼで数多く見ることができた赤トンボが少なくなっているとともに、水辺においては、ブラックバス等の外来種が生態系に悪影響を及ぼしています。

このような現状において、自然を再生し、生態系を維持しながら、自然環境を持続的に利用していく方法や人と自然が共生する地域づくりを考え、生物多様性の向上が図られることを目的に開催します。

入場無料で、どなたでも聴講ができますので、多数のご参加をお待ちしております。

### 記

1. 日 時 平成28年1月23日（土） 午後1時30分～午後4時30分
2. 会 場 登米市迫公民館 2階 軽運動場  
(迫町佐沼字中江二丁目6番地1)
3. 主 催 登米市環境市民会議、登米市
4. 定 員 50人
5. 内 容 別紙 開催要項のとおり
6. その他 事前に電話、メールまたはファクシミリで市民生活部環境課へお申し込みください。

#### [問い合わせ]

登米市市民生活部 環境課

環境政策係 主査 鈴木英樹

電話：0220-58-5553

FAX：0220-58-3345

メール：kankyo@city.tome.miyagi.jp

## 『第7回人と野生動植物の共生を考えるつどい』開催要項

### 1. 目的

現在の登米市の自然環境は、経済性や効率性を優先した近代化や開発により、生息してきた多くの生き物の生育環境の劣化や生態系の変化が見られます。例えば、以前は田んぼで数多く見ることができた赤トンボが少なくなっているとともに、水辺においては、ブラックバス等の外来種が生態系に悪影響を及ぼしています。

このような現状において、自然を再生し、生態系を維持しながら、自然環境を持続的に利用していく方法や人と自然が共生する地域づくりを考え、生物多様性の向上が図られることを目的に開催します。

2. 日時 平成28年1月23日（土） 午後1時30分～午後4時30分

3. 会場 登米市迫公民館 2階 軽運動場  
(登米市迫町佐沼字中江二丁目6-1 ☎0220-22-7324)

4. 主催 登米市環境市民会議、登米市

5. 共催 公益社団法人登米法人会

### 6. 参加対象者

登米市環境市民会議、登米市環境教育リーダー、一般市民等 約50名

### 7. 開催内容

【開会挨拶】13:30～13:45（15分間）

- ・登米市環境市民会議 佐藤幸一会長
- ・登米市長 布施孝尚

【基調講演】13:45～15:00（75分間）

- ・「生物多様性の保全に向けた子どもたちの可能性」

たなべ りゅうた  
田邊 龍太 氏（日本生態系協会）

【事例発表】15:10～16:15（65分間）

- ・「メダカの里づくり」

ききむら ごろう  
笹村 五郎 氏（NPO法人イート・フー里山水棲生物保存会理事長）

【質疑】16:15～16:30（15分間）

【閉会】16:30

### 8. その他

この講演会は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施します。